～諏訪の、自然と歴史～

諏訪実業高校文化ビジネス研究観光マップ（歴史・景観）

1・諏訪大社

諏訪大社は、長野県の諏訪湖周辺４か所にある神社。長野県中央の諏訪湖を挟んで、以下の二社四宮の境内が鎮座します。上社には、本宮、前宮、下社には 、 秋宮、 春宮があります。

下社秋宮→

2・高島城

高島城は、諏訪氏の居城として知られている諏訪湖に突き出した水城で、日本三代湖城のひとつに数えられています。

3・万治の石仏

1974 年画家の岡本太郎さん方が、たまたま諏訪大社の御柱祭を見来た時、石仏を見て、「えーマジすごくなーい？」とほめたことで、話題を呼びテレビ等で全国に紹介され知られることになりました。石仏の「万治」は、この石仏を建立した願主が、万治３年（1660）と刻まれているところによるものです。

明暦 3 年（1657）、諏訪大社下社春宮に遺石の大鳥居を奉納しようとした時のこと。石工が大きな石にノミを打ち入れたおり、その石から血が流れ出た。不思議な石に阿弥陀様を刻み建立された・・とされているのがこの石仏です。

4・砥川

豊富な湧き水を誇り、古くから灌漑用水として使用されてきました。1846 年には菰川汐、1708 年には多くの汐が開削されました。 1900 年には**落合発電所**が完成し、諏訪地方に電気の時代が到来したのです。水力発電所で、当初は 60 キロワットの電力を発生することができました。現在に至るまで発電をし続けています。 夏には、学生や子供連れの家族が川で遊びに来たりと楽しく遊べるところです。

5・鶴峰公園

昭和 10 年、10,000 平方メートルに及ぶ一帯が片倉から川岸村に寄付されました。村ではこれを記念して、園内に 300 株のつつじを植える事にしました。 そこで、つつじを埼玉県から購入しましたが、勘違いで3万株のつつじが送られてきました。この”勘違い”がつつじの名所を生んだのです。つつじは、30 種。最盛期にはつつじ祭りが開かれます。つつじといってもたくさんの種類があり、花の色も赤、白、橙など様々です。開花時期 ・・・ 5 月中旬

6・木落し坂

7年に一度、申年と寅年に行われる天下の大祭御柱。勇壮な祭りの代表的な場面としての、「木落し」となる舞台。斜度がきつく一気に落ちていきます。

木落し坂（上社）→

諏訪の自然を、子供連れの家族に楽しんでもらいたいと思い作成しました。

7・八剣神社

八剣神社（やつるぎじんじゃ）は長野県諏訪市にある神社。旧社格は県社。八千矛神・日本武尊・誉田別尊の三社の神を祀っています。諏訪大社上社の摂社です。

諏訪地方観光連盟製作

「諏訪エリア観光ガイド」より転用・加工